

市民の意見、要望に対する廣瀬先生のコメント（議会全般について）

市民の意見、要望	廣瀬先生のコメント
<p>1問1答、インターネット配信等により、質問がパフォーマンス的になりがちであるが、歯止めをかける手立てはあるか。</p>	<p>市民の皆様の評価が最終的にまた基本的に歯止めとなる。目だっていようが、地味であろうが、中身のあることをやっている議員が評価され、支持を集めるという環境ができることが求められている。活発に議論をしない議会より、パフォーマンスがあってもしっかりと議論をすることは大切である。</p>
<p>根拠のない質問や曲解した事実に基づいて、際限なく追及を繰り返す場合の罰則はあるか。</p>	<p>議会の見識において一定の懲罰はありえる。事実に基づいて追及することは議会の責任だが、根拠のないことは議会をいたずらに空転するだけである。</p>
<p>議員報酬や議員数を削減することが世の流れとなっているが、報酬はしっかりと出し、しっかりと市のために働いてもらうこと必要だと考えるが、見解は。</p>	<p>大規模な都市の報酬が話題となっているが、一般的な規模の市議会議員については、議員活動にしっかりと専念できる報酬を出す代わりに今以上にしっかりと働いてもらうという方向が市民にとっては良いのではないかと考える。大都市のような高額報酬を全ての議員がもらっている訳ではない。</p>